



長泉町立北中学校だより

令和4年度 学校だより「早緑」 新年号

早緑

○学校教育目標 「友愛・挑戦・感動」

爽やかな挨拶・自ら夢や目標に向かう・努力でつながる仲間・凛々しい北中生

○経営理念 「大切な私とあなた」 自尊感情・他尊感情の育成

○学校経営目標 「チーム北中」による温かい学校づくり

○指導の重点「主体的にT(時を守り)P(場を清め)R(人を敬う)」

令和5年 2023年もよろしくお願ひします！ 第4ステージのテーマは「感謝と進路」

新たな年を迎え。保護者や地域の皆様におかれましては、御清祥のこととお慶び申し上げます。さて、今日、冬休みを終えた生徒たちが北中校舎に戻ってきました。校舎に生徒たちの声が響くと、校舎が生き返ったかのように、活気を帯びてきます。この瞬間、学校で生徒たちと共に前進できる喜びを感じます。



今日から始まる第4ステージのテーマは「感謝と進路」です。この新年、二つの心に残ることがあったので書かせていただきます。

一つ目は、お正月明け、ある教え子の大学生が本校を訪れたことです。彼は陸上競技に一生懸命に取り組み、ここまでの戦績や記録について伝えてくれました。彼の身体を見ると、私が小学校で教えていた時には想像もできないほどで、胸板は私の三倍はありそうでした。相当厳しいトレーニングをしていることがわかりました。それだけでなく、ある職業への道を考え努力していることを話してくれました。彼の話をお聴きしていると嬉しくなると同時に若者のひたむきに頑張る清々しさを感じていました。

その彼が最後に「先生が、いつも声をかけてくれたから今の自分があります。ありがとうございます」と力強く話しました。私は彼のトレーニングにアドバイスしたことなどありませんし、陸上の専門知識もありません。ましてや、彼の進路決定にかかわったこともありません。しかし、感謝の思いとこれからの決意を話す彼の眼差しはキラキラと自信に満ち溢れ、本心から言っているのがわかりました。

二つ目は、お正月明けに学校に行くと、ある北中生からの年賀状が届いていたことです。何度も書き直したであろう、消しゴムで消した鉛筆での下書きの跡や、ホワイトペンで丁寧に修正した英語の文章が書かれていました。その手紙には、こう書いてありました。

Thank you for your greeting us every morning. It always makes me cheerful.

I hope you will be healthy and greet us at the school gate this year, too.

この英文には、命令文は一つも入っていません。感謝の気持ちと希望しか書かれていません。でも、私の心の中に、必ず2023年も頑張ろうという思いが湧きあがりました。どんな命令や指示よりも強い言葉があることを、改めて北中生から教わりました。

感謝の気持ちはどこから出るのでしょうか？ どんな心から生まれるのでしょうか？ 感謝の言葉にはどんな力があるのでしょうか？ 感謝と進路がどう結びつくのでしょうか？

「感謝と進路」がテーマの第4ステージ。生徒たちが自分の進路を見つめたり、学年の最後を仲間たちと創り上げたりすることを通して、答えを見つけてくれることを期待しています。

御家庭や地域の皆様。去年は本校への御協力ありがとうございました。本年も昨年同様、北中学校の生徒たちと教育活動への温かな応援をよろしくお願ひします。